

5 領域（認知・行動）とのつながりを明確化した支援内容

●項目	●ねらい
認知・行動	①認知の発達と行動の習得 ②空間・時間、数等の概念形成の習得 ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
●具体的な支援内容	
<p>【感覚や認知の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 （※ビジョントレーニング、認知機能トレーニングなど） <p>【知覚から行動への認知過程の発達】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択して行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。 <p>【認知や行動の手掛かりとなる概念の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 <p>【数量、大小、色等の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。 <p>【認知の偏りへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。 ・こだわりや偏食等に対する支援を行う。 <p>【行動障がいへの予防及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障がいの予防、及び適切行動への対応の支援を行う。 	